

それでは先ほど作成したサーバー上にPerlの開発環境を準備する方法をご紹介します。

## 環境構築パートの流れ

- ① ログインしてみよう ✓
- ② Linuxに触れてみよう
- ③ vimエディタに触れてみよう
- ④ Perlのインストール
- ⑤ CPANの使い方

全体の流れはこのようになっています。先ほど作成したサーバーにログインする方法。次にプログラムを作成する道具であるテキストエディタの使用方法。そしてPerlをインストールする方法。最後にPerlでアプリケーションを作成するのにとても役立つCPANというものの使い方を説明します。

# ログインしてみよう

- SSHって？ ✓

- Macの場合

- Windowsの場合

では早速始めて行きたいと思います。最初にログインをしみようということで、先ほど作成したサーバーにログインするSSHという方法についてご紹介します。その後、WindowsやMACでSSHを行う方法についてご説明します。

# SSHって？

- サーバーを遠隔操作する方法のひとつ
- サーバーとの情報のやり取りを暗号化

では最初にサーバーにログインする方法であるSSHについてご説明します。

サーバーは通常、データセンターをいうセキュリティや災害に強い施設に設置してあり、遠隔操作で作業を行います。

今回はみなさんのノートパソコンに作成した仮想サーバーで作業をしますが、通常は遠隔地にあるサーバーを操作します。

# ログインしてみよう

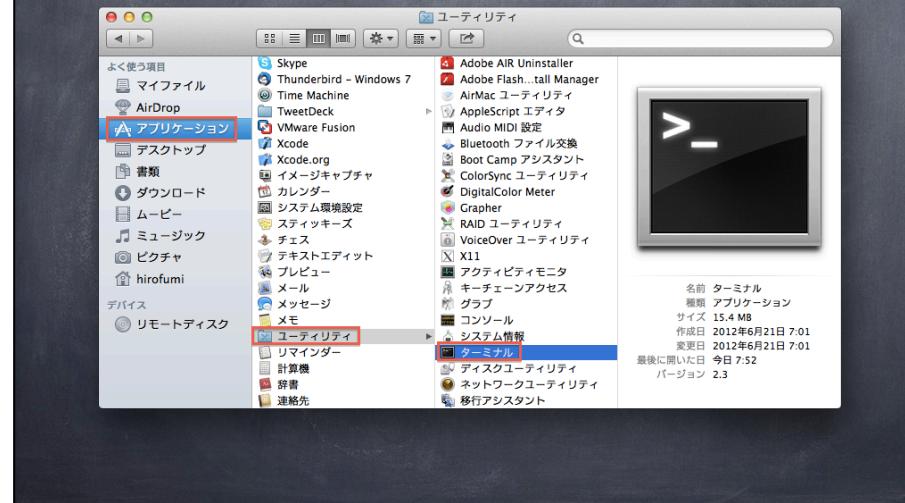
- ➊ SSHって？（済）

- ➋ Macの場合 ✓

- ➌ Windowsの場合

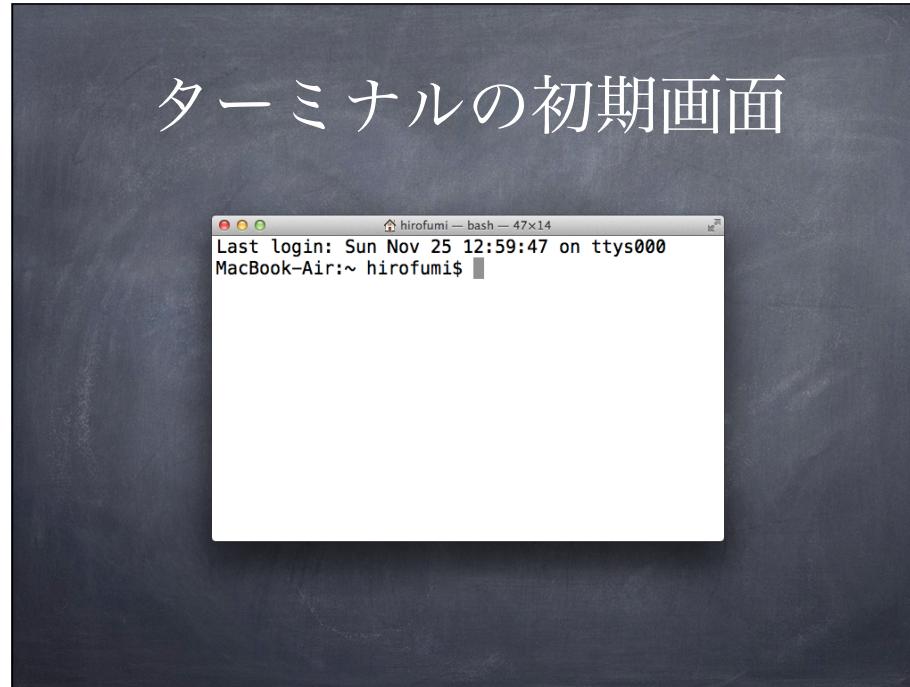
では早速始めて行きたいと思います。最初にログインをしみようということで、先ほど作成したサーバーにログインするSSHという方法についてご紹介します。その後、WindowsやMACでSSHを行う方法についてご説明します。

## Macの場合



では、MacでSSHを行う方法をご説明します。MacにはSSHを行うソフトが最初からインストールされています。アプリケーションフォルダの中のユーティリティの中にターミナルというソフトがあるので、ダブルクリックしてください。

## ターミナルの初期画面



このような画面が表示されるはずです。「Last login:」の箇所は最後にターミナルを起動した日時です。「MacBook-Air」の部分と「hirofumi」の部分は、はコンピュータ名とユーザー名で、みなさんの環境により異なります。この「\$」起動で終わりカーソルが表示されている箇所をコマンドプロンプトといいます。Macではこの「\$」記号の後にコマンドという命令を入力する事でSSHなどいろいろなことができます。

## ターミナルでのSSH

```
MacBook-Air:~ hirofumi$ ssh student@192.168.24.61
The authenticity of host '192.168.24.61 (192.168.24.61)' can't be established.
RSA key fingerprint is 49:e1:8c:ad:b8:1b:18:74:39:b8:71:dc:46:f0:9c:bf.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
Warning: Permanently added '192.168.24.61' (RSA) to the list of known hosts.
student@192.168.24.61's password:
Last login: Sun Nov 25 13:09:37 2012 from 192.168.24.53
[student@localhost ~]$
```

ssh student@IPアドレス

それでは早速SSHでサーバーにログインしてみましょう。プロンプトに「student @IPアドレス」と入力しEnterキーをタイプしてください。初めてログインするサーバーの場合、初めて接続するけど本当に良いですか？という旨のメッセージが表示されます。「yes」と入力するとパスワードを求められるので「student」と入力してEnterキーをタイプしてください。入力内容は表示されません。ログインに成功すると「student@localhost」と表示されます。

# ログインしてみよう

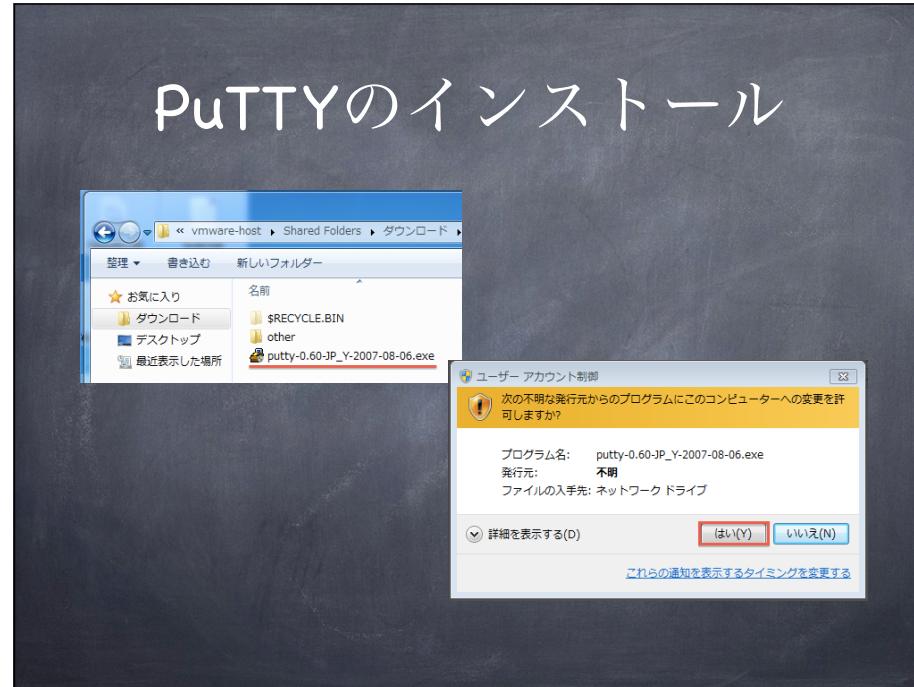
- ➊ SSHって？（済）
- ➋ Macの場合（済）
- ➌ Windowsの場合 ✓

では早速始めて行きたいと思います。最初にログインをしみようということで、先ほど作成したサーバーにログインするSSHという方法についてご紹介します。その後、WindowsやMACでSSHを行う方法についてご説明します。

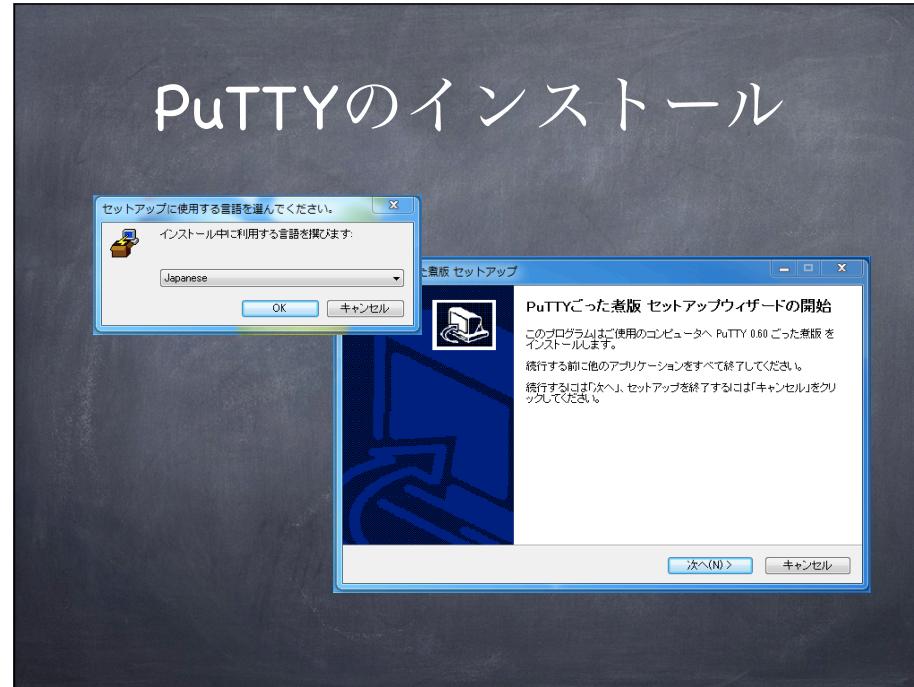


WindowsではSSHクライアントと呼ばれる類いのソフトを使うと便利です。  
今回はSSHクライアントソフトのひとつである「PuTTY」をインストールして使用します。

# PuTTYのインストール

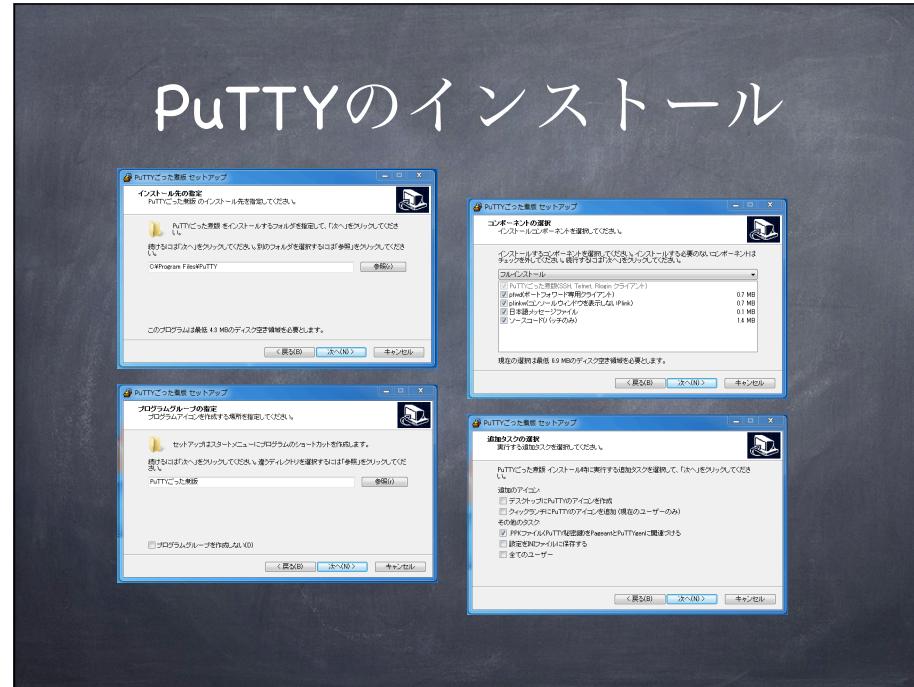


PuTTYのインストーラはWEBサイトからダウンロードできますが、今回は既にダウンロードしたものをUSBで配布しています。「putty-0.60-JP\_Y-2007-08-06.exe」をダブルクリックしてください。ユーザー アカウント 制御が表示される場合は「はい」をクリックしてください。  
インストーラが起動します。



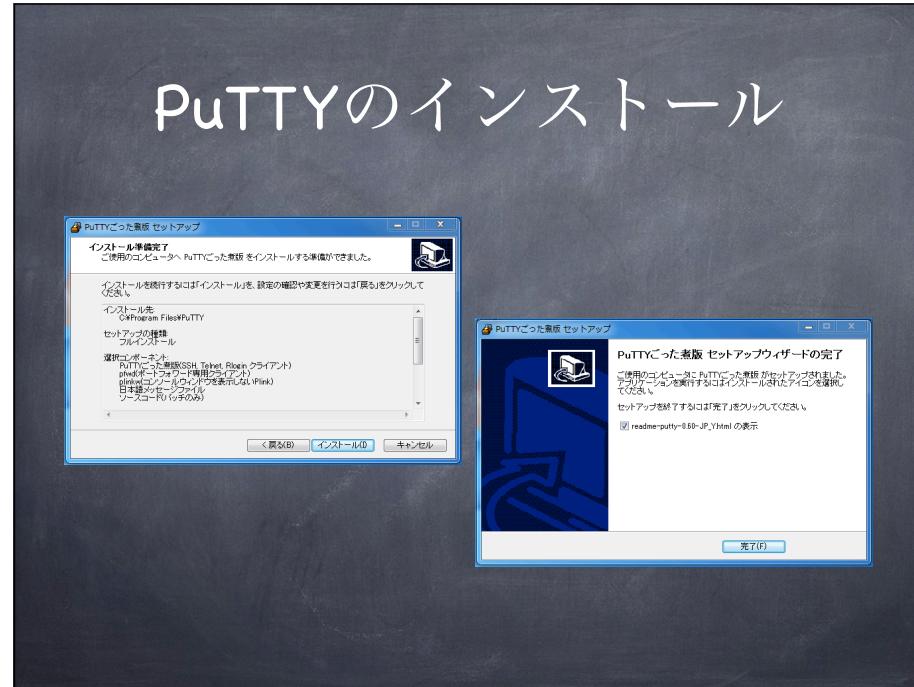
セットアップに使用する言語でJapaneseが選択されている事を確認し「OK」をクリックします。

セットアップウィザードが開始されるので「次へ」をクリックします。



「インストール」ボタンが表示されるまで「次へ」をクリックします。

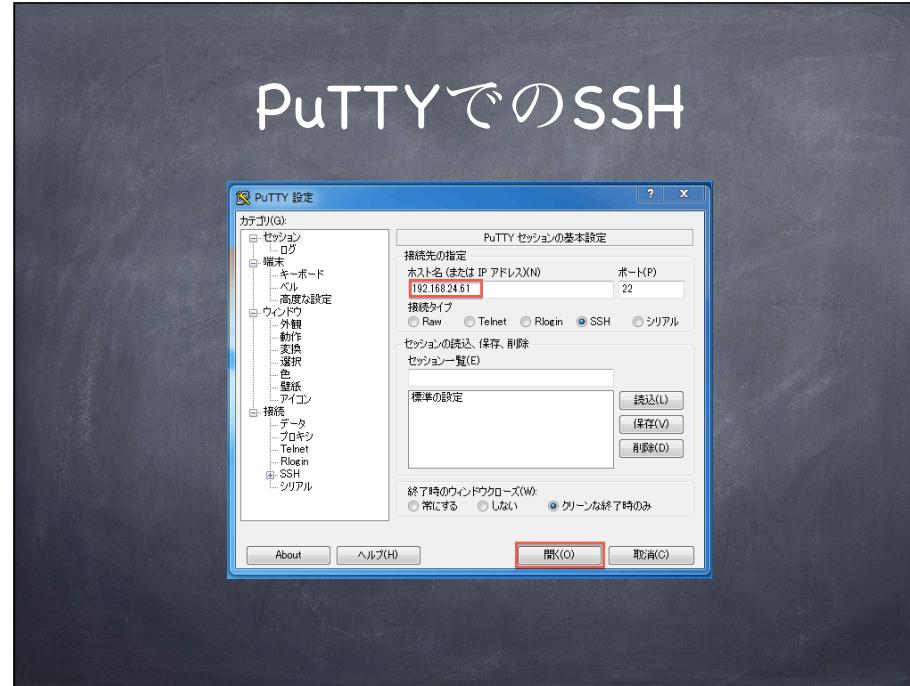
# PuTTYのインストール



最後に「インストール」ボタンをくりっくするとインストールが実行され完了画面が表示されます。

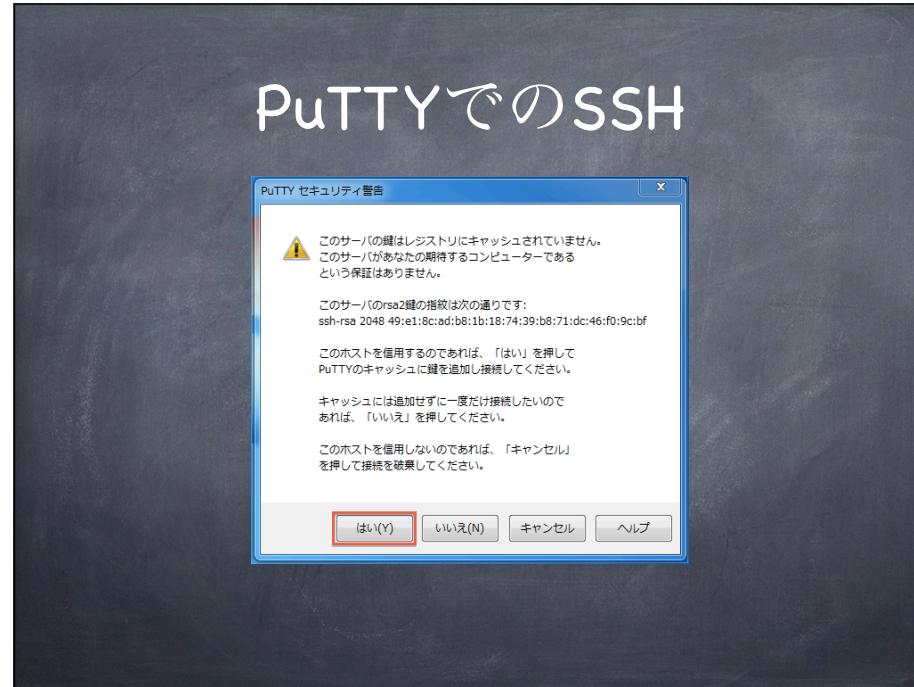
「完了」ボタンをクリックしウィンドウを閉じてください。

# PuTTYでのSSH



WindowsのスタートメニューからPuTTYごったにを起動します。

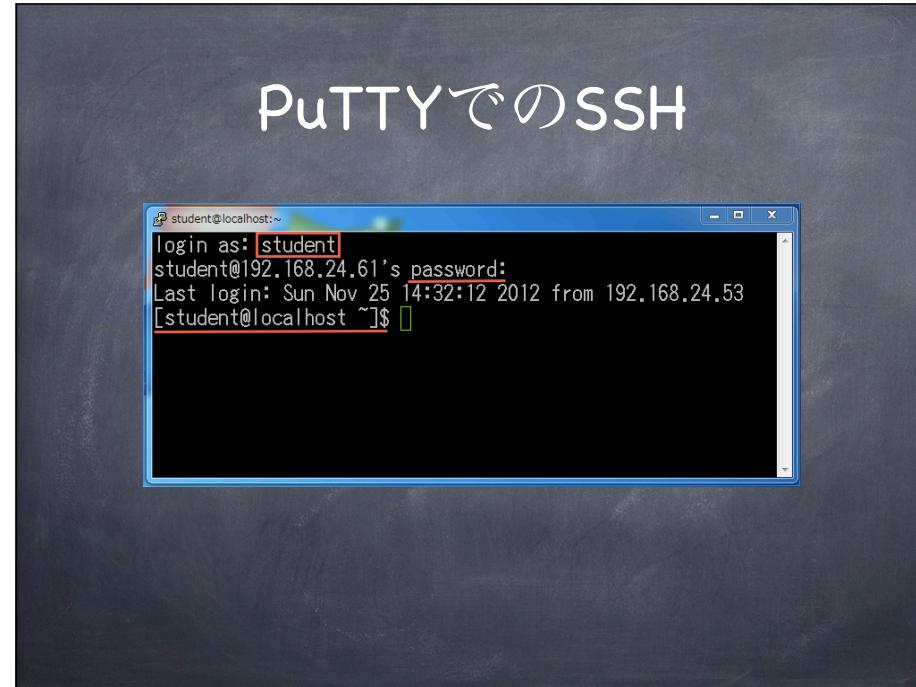
このようなウィンドウが表示されるのでIPアドレスを入力し、「開く」ボタンをクリックしてください。



初めて接続するサーバーの場合は警告が表示されます。「はい」をクリックしてください。



このようが画面が表示されます。文字サイズが小さいのでウィンドウの上部を右クリックして「設定の変更」をクリックし、左側のカテゴリで「ウィンドウ」の下の「外観」をクリックし、「フォントの変更」の箇所で「変更」ボタンをクリックすると文字サイズを変更できます。フォントの変更は必須作業ではありません。



それではログインをしてみましょう。「login as:」の箇所にカーソルが表示されていると思います。ユーザー名の「student」を入力しEnterキーをタイプしましょう。「password:」でパスワードを求められるので「student」と入力しEnterキーをタイプしましょう。入力内容は表示されません。student@localhostと表示されればログイン成功です。

## 環境構築パートの流れ

- ➊ ログインしてみよう（済）
- ➋ Linuxに触れてみよう ✓
- ➌ vimエディタに触れてみよう
- ➍ Perlのインストール
- ➎ CPANの使い方

全体の流れはこのようになっています。先ほど作成したサーバーにログインする方法。次にプログラムを作成する道具であるテキストエディタの使用方法。そしてPerlをインストールする方法。最後にPerlでアプリケーションを作成するのにとても役立つCPANというものの使い方を説明します。

# Linux超入門

- ⌚ pwd
- ⌚ touch
- ⌚ mkdir
- ⌚ rm
- ⌚ ls
- ⌚ rmdir
- ⌚ cd
- ⌚ ifconfig

# pwd

```
[student@localhost ~]$ pwd  
/home/student  
[student@localhost ~]$
```

# mkdir

```
[student@localhost ~]$ mkdir d1  
[student@localhost ~]$ ls  
d1  
[student@localhost ~]$
```

**cd**

```
[student@localhost ~]$ cd d1  
[student@localhost d1]$ pwd  
/home/student/d1  
[student@localhost d1]$
```

# touch

```
[student@localhost d1]$ touch f1.txt  
[student@localhost d1]$ ls  
f1.txt  
[student@localhost d1]$
```

# cp

```
[student@localhost d1]$ cp f1.txt f2.txt
[student@localhost d1]$ ls
f1.txt f2.txt
[student@localhost d1]$
```

rm

```
[student@localhost d1]$ rm f2.txt  
[student@localhost d1]$ ls  
f1.txt  
[student@localhost d1]$
```

**cd ..**

```
[student@localhost d1]$ cd ..
[student@localhost ~]$ pwd
/home/student
[student@localhost ~]$
```

# rmdir

```
[student@localhost ~]$ rmdir d1  
rmdir: failed to remove `d1': ディレクトリは空ではありません  
[student@localhost ~]$ rm -fr d1  
[student@localhost ~]$ ls  
[student@localhost ~]$
```

# vim超入門

- 起動
- ノーマルモード
- 挿入モード
- コマンドモード

# Perlのインストール

- ④ perlbrewのインストール
- ⑤ perlbrewの設定
- ⑥ Perlのインストール
- ⑦ インストールしたPerlの使い方

# CPANの使い方

- ① CPANとは
- ② CPANを使う準備
- ③ CPANを使ってみよう
- ④ Plackを使ってみよう